

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

帯3本の術：着物アレコレ

第一に重めの格調ある袋帯が必要です。第二に、やや趣味的なお洒落の要素が入った袋帯（よくいうところの洒落袋）

そして第三には、格調高い雰囲気がある名古屋帯などを持っていると便利です。

この場合の名古屋帯は砕けすぎない柄である事と、仕立て方が開き名古屋仕立てになっていれば尚、望ましいです。※開き名古屋仕立て（鏡仕立て、額縁仕立てとも言う）

そうすれば前を広く折れるので袋帯のようで立派にみえます。ただし、あくまでも付下げ止まりです。

もちろん結婚式のお呼ばれには、訪問着でも、付下げでも、色無地の紋付きの場合でも帯は必ず袋帯にします。

それ以外の集まりには、第二、第三で述べた物で良いと思います。三種類の帯だけ、三本の帯だけを揃えれば終わりという訳ではないのです。この三本の柱を基準に置き、機会に合わせて手持ちの帯から選んでください。

また新たに求める時にもこの事を考えて増やして行けば無駄がないはず。余裕があれば季節感のある袋帯も持てれば、より一層豊かな気持ちを持てるでしょう。

これからの和とくポイント

小紋を着る場合

小紋と言っても色々です。型小紋、手描き小紋、江戸小紋、などが代表的ですが、これらの着物こそ袋帯でも名古屋帯でも着ていく場所にあわせて自分らしい雰囲気を作れます。

多くの組み合わせが考えられて着物好きな方にとっては腕の見せ所ではないでしょうか。

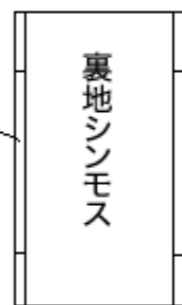
江戸小紋は準礼装にもなるので、柄物や飛び柄の遊びの小紋とは少し違い、帯次第でバリエーションが広がります。無地に近い感覚もあるのでお茶会などでは季節の帯を含めた3本の術を活かせるでしょう。

「帯3本の術」と称して着物に合わせる帯が3本というのはあくまでも1枚の着物に対しての基本の考えになる柱ですから、この柱を自在に伸ばして膨らませて下さい。

少なくとも3通りの楽しみ方があるということなので、着物も帯も互いにクロスしあいながら変化できること、ただなんとなく行き当たりばったりで帯を揃えるのではなく、どんな時にどんな帯を必要としているのかをイメージして選べば楽しくて賢いキモノライフとなるでしょう。



前の柄がのぞいている



やしま呉服店からのお知らせ

10月の秋のやしま祭りには多くの皆さま方にご来店頂きまして誠にありがとうございました。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

❀ 11月の催事・イベント ❀

◎キャンペーン・・・4日（土）～12日（日）
*履物・・・掘り出し物がいっぱいです(^-^)/

◎催事・・・バッグ特招会
とき：17（金）～19日（日）

◎ポーセラーツ教室
とき：21日（木）



※各詳細のお問い合わせはお店まで
◎HP：<http://www.yashima-gofuku.co.jp/>

❀ さくらきもの学院 ❀

※詳細はさくらきもの学院事務局まで
◎HP：<http://jtti.jp/sakurawasou/>
◎Fb：<https://www.facebook.com/sakurawasou/>
❀ レッスンのお申込受付ます♪

- ・マンツーマンレッスン：初等科6回
- ・マイアップレッスン：10000円/10回
- ・1dayレッスン：500円/回

◎blog：<http://sakura-rarara.sblo.jp/>

七五三

ありがとう



By：お藤